

株式会社メディア工房 (Media Kobo, Inc.)

平成29年8月期（第20期）
決算説明会

総括

■ 増益要因 ■

- LEWIS FACTORYの**営業黒字化**
- LINEトーク占い、
IPコラボアプリの**増収増益**

■ 減益要因 ■

- OBOKAID'EM（カジュアルゲーム）撤退に伴う
特別損失の計上
- AI、VRへの**先行投資**（主に人件費）
- 社内インフラ整備の**コスト増**
- 既存占いコンテンツの不調

財政状況

連結貸借対照表 資産の部

(百万円)	第19期	第20期	増減額	増減率(%)
流動資産合計	2,306	2,704	398	17.3
有形固定資産	280	22	▲257	▲92.0
無形固定資産	322	161	▲160	▲49.8
投資その他の資産	351	289	▲62	▲17.6
固定資産合計	954	473	▲480	▲50.3
資産合計	3,260	3,178	▲82	▲2.5

連結貸借対照表 負債・純資産の部

(百万円)	第19期	第20期	増減額	増減率(%)
流動負債	868	901	32	3.7
固定負債	596	787	191	32.1
負債合計	1,464	1,688	223	15.3
純資産合計	1,796	1,490	▲305	▲17.0
負債純資産合計	3,260	3,178	▲82	▲2.5

特記事項

■ 有形固定資産の減少

＞ 建物の売却による254百万円の減少

■ 安定と挑戦を兼ね備えた資本バランス

＞ 現金預金2,226 百万円：借入金1,418 百万円

＞ 自己資本比率 **46.5%**（前期末：53.8 %）

＞ 第21期の**事業規模拡大を見据えた借入増**

■ 流動比率300%超 高い支払い能力

＞ 流動比率 **300.2 %**（前期末：265.5 %）

＞ 固定長期適合率 20.8%

■ 自己株式の取得

＞ 株主還元、事業活動の円滑性向上等を目的として**470,000株を取得**

經營成績

連結損益計算書

(百万円)	第19期	第20期	増減額	増減率(%)
売上	1,940	2,251	310	16.0
売上総利益	961	944	▲17	▲1.8
営業利益	26	▲31	▲57	—
経常利益	▲60	▲45	14	—
特別利益	15	104	89	579.3
特別損失	79	232	153	192.7
税引前当期純利益	▲124	▲173	▲49	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲139	▲110	28	—

特記事項

■ 売上原価の増加 ■

- ＞ OBOKAID'EMゲームの減価償却と減損損失
- ＞ 第三四半期まで原価計上（25百万円）
- ＞ 事業譲受による子会社人員増に伴う人件費の増加

■ 特別利益の発生 ■

- ＞ 建物・会員権等の売却による利益69百万円

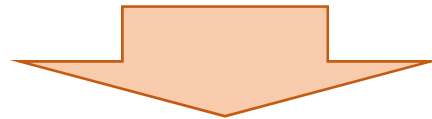
■ 特別損失の発生 ■

- ＞ OBOKAID'EM（カジュアルゲーム）の撤退による事業整理損170百万円
- ＞ LEWIS FACTORY 制作途中ゲームの償却

セグメント別状況

(百万円)

第19期	占い コンテンツ	ゲーム コンテンツ	その他	調整額	合計
売上	1,844	76	19	—	1,940
営業利益	609	▲109	▲61	▲411	26



(百万円)

第20期	占い コンテンツ	ゲーム コンテンツ	その他	調整額	合計
売上	1,755	492	3	—	2,251
営業利益	500	▲89	▲20	▲422	▲31

各事業の業績

占いコンテンツ

直接鑑定事業が貢献 継続的な売上増

- 上半期に引き続きLINEトーク占いが好調
- 電話占いにおいても売上増



占いアプリも健闘

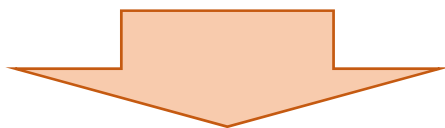
- 下半期において緩やかながらも売上増
＞ 第3四半期に打った広告の効果
- 台湾・香港・マカオにも展開

AIを活用した分析ツール開発 (80%完成)

占いコンテンツ

期中売上回復まで一歩及ばず
収益柱の確立は21期に

- 収益体制変更が当期中には寄与せず
＞ 来期上半期には効果が出るものと予測
- 既存コンテンツ（PC,モバイル）の会員数減
＞ 会員費や課金による収入が減少
- IPコラボレーションアプリの短命化
＞ キャリアの広告方針変更が影響



減収減益

無料コンテンツの活用
広告収益体制の強化

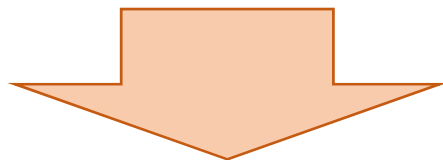
ゲームコンテンツ

LEWIS FACTORYが健闘

期中運営移管タイトル本数が
予定を下回ったものの…



事業譲受以降新たに2タイトルを運営移管
ゲームコンテンツ事業の収益増加に寄与



売上高642%増

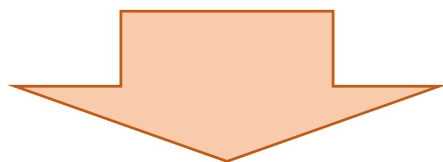


ゲームコンテンツ

不採算事業として OBOKAID'EMを撤退

(カジュアルゲームの撤退)

- 第3四半期までの減損損失（原価計上）に加え、事業整理損として特別損失を計上
- 案件精査の結果、LEWIS FACTORYにおいても開発途中のタイトルを償却



LEWIS FACTORYの健闘にも拘らず
最終利益赤字に

ゲームコンテンツ
事業の再編

第21期 事業展開

占いコンテンツ モバイル部門 1 位を目指して

AI活用の分析ツールで 顧客ニーズを追及



- 無料鑑定・無料コンテンツ増
＞ 当社の強みである本格的な占いを無料で提供
ユーザー数の増加によりニーズ分析の精度を高める
- SNSの活用
＞ ライトユーザーや潜在ユーザーへのアプローチ
ユーザー数の増加により広告収入増へ

占いコンテンツ 女性向けメディア運営

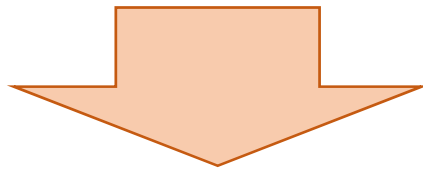
恋愛、結婚、人生。
女性の「気になる」を詰め込んだ
コラム×無料占い「カナウ」



様々な無料コンテンツで
幅広いユーザー層にアプローチ!!

直接鑑定事業 成功ナレッジを他サービスに生かす

良質なサービスの提供を ますます強化

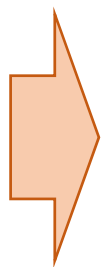


- **圧倒的優位**にあるLINEトーク占いにおけるノウハウを既存占いコンテンツ事業へ活用
- 新システムの導入による**体制整備**と**サービス向上**
- 悩みに幅広く対応できる質の高い占い師の開拓・確保、そして育成



ゲームコンテンツ事業 挑戦、支える安定の運用

VR技術を活用したゲーム開発



- エンタメ性の充実化
＞ VR事業との連携により運営タイトルに付加価値を
- 協業による新規タイトルの制作



安定収益基盤 としてのセカンダリー



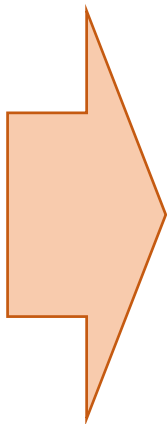
- タイトルあたりの利益増
＞ 既存運営コンテンツを
 様々なプラットフォームへ展開
＞ 営業強化による良質なコンテンツの獲得

各事業の推進を後押し

found it project AI事業

人を救うAIへの挑戦

自然言語処理×機械学習で
未来を作る



- AIを活用した占いデータの情報処理と分析
 - ＞ユーザー自身が「気づいていない」悩みや気持ちを分析
 - ＞もっとも適切なコンテンツの提案
- 占いからはじめ、ゆくゆくは各事業の必須ツールとして展開
 - ＞よりユーザーの立場に沿ったサービスの提供を可能に

世界の開発企業と協業 AR,VR事業を展開 ～PIMAX～

ハード、ソフト、
そして**コンテンツ**の提供へ



- 中国「Pimax Technology」との協業
＞ **国内唯一！** 販売代理店契約を締結
話題の8K高画質を日本でも
- **触媒技術**の実装に意欲
＞ 五感で楽しむハードを目指して
- 将来的には**VR用コンテンツ**の提供を予定

世界の開発企業と協業 AR,VR事業を展開～DoubleMe～

11月16日～17日、 大型イベントへ参画！！

- 米国「DoubleMe」との資本・業務提携
 - ＞ (株)島精機製作所主催の
世界的な衣料メーカーが参加する一大イベントに出展
 - ＞ 同社のファッションビジネス革新に最先端技術の活用を提案

縫製機器の分野で世界トップシェアを誇る
(株)島精機製作所が5年に一度開催する

大型イベント！！

ゲストには世界的なアパレルメーカーも！



海外事業の拡充

平成29年9月
中国上海に**子会社設立**



● VR関連を含む海外ビジネスを**積極展開**

- 名 称：魅仕坊（上海）互聯网科技有限公司
(Media Kobo (Shanghai) Internet Technology Co.,Ltd.)
- 所 在 地：中国（上海）自由貿易試験区富特西一路115号6層6-8室
- 資 本 金：1,000万人民币元（約170百万円）
- 事業の内容：デジタルコンテンツ企業及びVR企業との業務提携及び制作委託 他

ご参考

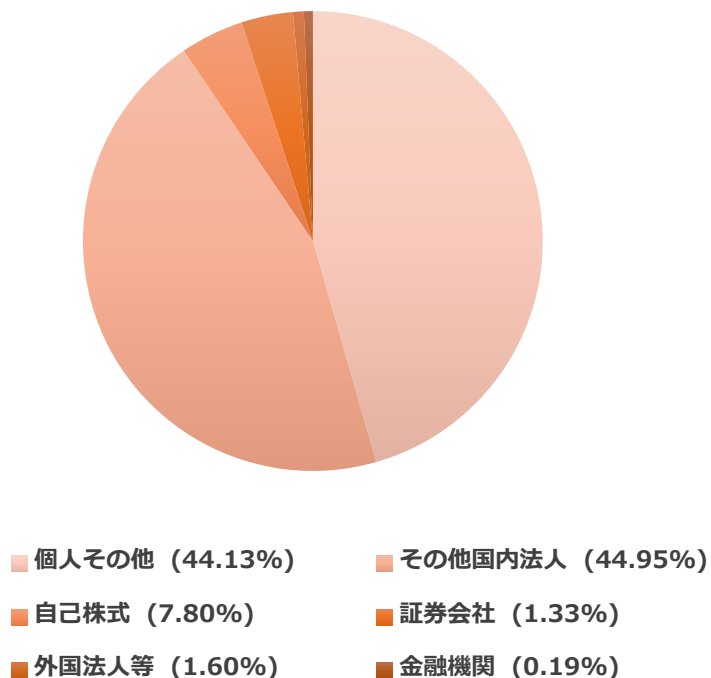
会社概要

本社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階	
設立	1997年10月	
資本金	451百万円	
従業員数	連結 159名（平成29年8月末 時点）	※契約社員等を含む就業人数
平均年齢	33.8 歳（平成29年8月末 時点）	
子会社	株式会社ブルークエスト 株式会社ルイスファクトリー 株式会社ギフトカムジャパン	
上場市場	東証マザーズ（3815）	
事業内容	コンテンツ制作・配信事業・各種メディア事業 他	



株主構成（平成29年8月末日時点）

● 株主状況



総株主数	3,645人
1単元以上の株式を所有する株主数	3,585人

※平成28年8月期末の総株主数は4,688人

● 株式の状況

上場株式数	11,300,000株
自己株式数の合計	880,876株
役員の所有株式数合計	2,043,900株
流通株式数	3,516,224株
流通株式数比率	31.1%

● 大株主の状況

株主名	所有持株数	所有株式数の割合
エヌカルテット	4,859,000株	43.00%
長沢一男	1,910,100株	16.90%
ニフティ	200,000株	1.77%
長沢敦子	188,000株	1.66%
桑原 崇	170,000株	1.50%

※自己株式 504,876株（4.47%）を控除した上位5名を記載しております。

資料に関する注意事項

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた損害等については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来の見通しとは乖離が生じることがありますのでご了承ください。

【本資料及び当社に関するお問い合わせ先】

株式会社 メディア工房
管理部 経営企画チーム
TEL 03 - 5549 - 1804
FAX 03 - 3586 - 4480
<http://www.mkb.ne.jp>